

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第3学年生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 「話すこと・聞くこと・書くこと」に関する内容の定着が見られ、問題に粘り強く取り組むことができている。
- 言葉の特徴や使い方について、適切に選んだり書いたりすることに課題が見られる。
- 文章の構造や意味を捉え、内容を解釈することに課題が見られる。

【数 学】

- 説明を書く問題において、根拠を明確にして表現し、粘り強く取り組むことができている。
- 「数と式」「データの活用」領域における、基礎的・基本的な知識・技能の定着に課題が見られる。

【英 語】

- 「読むこと・聞くこと」に関する内容の定着が見られる。
- 自分の考えや必要な情報を英語で書いて表現することに課題が見られる。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- 授業で学習することが将来の役に立つと考える生徒が多い。
- 学習した内容と実生活とのつながりを実感することに課題が見られる。
- 家庭学習の時間の確保や、スマートフォン・パソコン・タブレット・ゲーム機等で、SNS・動画視聴等の利用時間を自己管理することに課題が見られる。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・国語・数学における「書くこと・説明すること・交流すること」の場を位置付けた授業実践の充実

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・英語における、自分の考えや必要な情報を書く活動の充実
- ・各教科における、学習内容と実生活とのつながりを実感できる学習活動の充実

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・授業をはじめとする様々な場面における進路に関する情報提供の充実

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・読書時間や家庭学習を計画する機会の設定と、家庭学習習慣の定着に向けた仕組みづくり